

科目名	高齢者リハビリテーション学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進み、理学療法の現場で高齢者を担当する機会が増えているが、祖父母との同居率が低下して高齢者との触れ合いが減少している。</li> <li>・高齢者は罹患しやすく、複数の疾患や症候を保有する傾向が強くなる。</li> <li>・社会から勇退し、生活環境が変化した高齢者が抱く感情や心理は現役世代とは異なる。</li> <li>・そういった高齢者に理学療法士として関わるにあたり、高齢者特性を理解することが必須である。</li> </ul>							
〔授業全体の内容の概要〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老年症候群を軸にした高齢者の変化と高齢時好発する代表的な疾患を紹介解説する。</li> <li>・高齢者の生活機能の評価方法を紹介解説する。</li> </ul>							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をイメージできる。</li> <li>・加齢に伴う心身機能の変化を理解できる。</li> <li>・変化の理解を踏まえた理学療法の留意点を理解できる。</li> <li>・老年期に好発する疾患wば踏まえた理学療法を深めることができる。</li> </ul>							
回数	講義内容						
1	老年症候群①						
2	老年症候群②						
3	高齢者の生活機能評価方法						
4	理学療法実施上の注意点						
5	高齢者の疾患①						
6	高齢者の疾患②						
7	高齢者の疾患③						
8	地域の高齢者と理学療法の関わり						

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
高齢者理学療法学テキスト	細田多穂	南江堂

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験で評価する。
------------